
研究活動報告

国際人口移動政策に関するミニコンファレンス

1997年9月30日(火)の9時30分～12時30分に厚生省別館(霞が関)5階の統計情報部第2会議室(2)(3)にて当研究所主催の「国際人口移動政策に関するミニコンファレンス」(Mini-Conference on Immigration Policy)が開催された。講演者は井口泰・関西学院大学経済学部教授とデービッド・A・コールマン(David A. Coleman)オックスフォード大学応用社会学科リーダー(Reader, Dept of Applied Social Studies and Social Research, Oxford University)の2人で、司会を小島宏が務め、会議はすべて英語で行われた。井口教授が「変動期の東アジア経済と日本の視点から見た国際人口移動」(“Changing East-Asian Economies and International Migration from the Aspect of Japan”)と題された講演を行った後、コールマン博士が日本との比較を交えながら「イギリスの移入政策：巧妙に偽装された失敗」(“UK Immigration Policy: a well-disguised failure?”)と題された講演を行った。それに続き、活発な質疑応答が行われた。当研究所以外から30名近くの研究者、行政官、大学院生等が参加し、盛況であった。外国人参加者も目に付き、たまたま来日中の著名な社会学者のピーター・バーガー(Peter L. Berger)ボストン大学教授(Professor, Boston University)まで参加されたのは特記に値すると思われる。

なお、コールマン博士の報告論文は1998年半ばのイギリス移入法改正を待って改訂され、『人口問題研究』に翻訳が掲載される予定である。(小島 宏記)

第75回～77回人口問題審議会総会

第75回人口問題審議会総会は、中央合同庁舎5号館共用第9会議室において、平成9年10月21日(火)15時00分より17時00分まで開催された。金沢市において9月27日、「少子化を考える石川県民会議」が、札幌市において10月2日、「少子化を考える道民会議」が、広島市において10月13日、「少子化を考える県民会議」がそれぞれ開催され、岩淵勝好、宮武剛委員よりその概要が報告された。次いで、「少子化に関する基本的考え方について(起草委員案)」の説明があり、それについての討議が行われた。

第76回人口問題審議会総会は、中央合同庁舎5号館共用第9会議室において、平成9年10月27日(月)15時00分より17時00分まで開催された。前回に引き続き、「少子化に関する基本的考え方について(起草委員案)」についての討議が行われた。

第77回人口問題審議会総会は、中央合同庁舎5号館厚生省特別第1会議室において、平成9年12月16日(火)15時00分より17時00分まで開催された。「少子社会を考える国民会議」及び国立社会保障人口問題研究所主催の「厚生政策セミナー」について、阿藤誠委員より報告があった。次いで、キャサリン・キアナン(Kathleen E. Kiernan)ロンドン経済大学講師及びジャン・クロード・シェネ(Jean-Claude Chesnais)フランス国立人口研究所部長からイギリスとフランスの出生率と家族政策に関する報告があった。(金子武治記)